



フランス原子力安全規制当局（ASN）が ATMEA1 の安全設計の妥当性を確認

三菱重工業とフランス AREVA 社の合弁会社である ATMEA 社は 2 月 7 日、同社が開発した最新（第 3 世代プラス）の原子炉「ATMEA1」の安全設計について、フランス原子力安全規制当局（ASN）から評価結果を受け取った。

ATMEA1 は、出力 110 万 kW の革新的第 3 世代プラス加圧水型原子炉（PWR）であり、ATMEA 社により開発され世界市場に向けて販売されている。

ATMEA1 の安全設計は最新の規制と国際的な安全要求に基づいており、その世界最高水準の安全性能は、地震や溢水、民間航空機衝突等の事象から重要機器を保護するというような、最も厳しい安全要求にも応えるものである。

ASN は、技術支援機関であるフランス放射線防護原子力安全研究所（IRSN）の緊密な協力を得つつ実施された本評価の結論として、ATMEA1 の安全設計がフランスの安全規制および技術的要求に適合していることを確認した。また、ATMEA 社が実施した評価では、東京電力福島第一原子力発電所で起きたような過酷で極端な事故に対応するために ATMEA1 の現状の設計を変更する必要がないことが確認されたが、ASN はその評価結果についてもその内容を確認した。ATMEA 社は、ATMEA1 が引き続き最高レベルの安全要求を満たすよう、世界中で同事故に関して共有される経験を注視していく。

ATMEA 社のフィリップ・ナミー社長兼 CEO（最高経営責任者）は「この評価結果は ATMEA1 がその高い経済性に加えて、第 3 世代プラス原子炉として世界の最も厳しい安全要求に応えることができる原子炉であることを証明しており、世界各地域における ATMEA1 の建設に向けての重要な一歩である」と述べた。

ASN は原子力に関する透明性と安全性に関する法律に基づき 2006 年 6 月に設立された独立した規制当局であり、フランスにおけるすべての民間の原子力関連の活動を管理している。

ATMEA 社は、親会社である三菱重工ならびに AREVA 社が供給し長年にわたり世界中で運転されてきた約 130 基の原子炉とその約 3,300 年・炉（運転年数×炉数）の運転経験を生かして開発した ATMEA1 を世界の原子力市場に販売している。

ATMEA ウェブサイト：<http://www.atmea-sas.com>

三菱重工 ウェブサイト：<http://www.mhi.co.jp>

AREVA ウェブサイト：<http://www.aveva.com>

以 上